

に期待される取組

- 「**個の確立**」が家庭・職場を通じ休暇の取得の際に重要—休暇の目的は働く人それぞれが考えることです。
- 休暇の目的について個人が家族と向き合いながら、休暇が**家族全員のため**のものとなるように考えることが望まれます。

支援

- ^{エム}休暇をとりやすいよう、業務遂行体制・組織・社内風土等の在り方を**労使が話し合いを重ね合意形成を図りつつ見直し**をして下さい。
- 休暇を妨げる要因として、業務量との関係で要員の問題も大きいことから、「**集中して密度濃く働き、無駄な仕事をしない**」という意識を労使が共有する下で、適正な要員配置、代替要員の確保などに配慮して下さい。

行政では
次のような支援を
します。

- 長期の休暇を実施している先駆的な企業の**好事例**や休暇についての**研究成果の周知啓発**
- モデルとなる**中小企業に支援**を行い、その成果等を周知・広報

エル L 休暇



エル
L 休暇が職場において導入されることに

- 顧客満足度向上に従業員の気持ちを向けることに役立ちます
- 時間的ゆとりを重視する労働者から評価され、企業の人材確保に寄与し、その幅が広がります
- 徐々に権限委譲の仕組みが出来上がり、労働者の職務遂行能力の向上、職場ごとの生産性の向上が期待されます

企業の
活性化

- 仕事と家庭の両立を促進します
- 家族で過ごす時間が増加し、家族が直面する課題に取り組む契機になります

家庭の団らんや
きずなの回復

- 消費拡大、省力化投資の促進などの経済効果が見込まれます
- 労働生産性の向上、労働力の維持が期待されます

経済の活性化

6つ